



news release

ポケットカード株式会社(8519) 平成20年2月期 中間期業績の概況

**割賦購入あっせん部門、融資部門が順調に推移し営業収益は前年同期比5.5%の増収
利息返還請求関連費用等の増加により経常利益は前年同期比43.8%の減益**

ポケットカード株式会社(8519)の平成20年2月期中間期の業績は、割賦購入あっせん部門、融資部門が順調に推移した結果、営業収益は202億53百万円(前年同期比5.5%増)となりました。一方で昨今の利息返還請求の増加等に伴い営業費用が増加し、営業利益は25億55百万円(前年同期比43.8%減)、経常利益は25億50百万円(前年同期比43.8%減)、中間純利益は10億76百万円(前年同期比60.2%減)となりました。

収入面では、割賦購入あっせん部門が、各種マーケティング施策の実施により利用会員数が増加し、一人当たりの利用単価、利用回数も増加したことにより、取扱高が1,164億50百万円(前年同期比16.6%増)と拡大したことに加え、リボ専用カードの発行やシステム面での利便性の向上など、ショッピングリボ拡大への積極的な取り組みによりリボ残高が増加したことで、営業収益は28億55百万円と前年同期比24.3%増の大幅な増収となりました。また融資部門については、会員一人ひとりの信用度に応じた機動的な与信枠の設定や、新型ローン商品の提供等により、債権流動化分を含む融資残高は1,392億54百万円(前年同期比2.7%増)、営業収益は160億86百万円(前年同期比2.7%増)となりました。割賦購入あっせん部門、融資部門両面での順調な推移により、営業収益全体では202億53百万円となり前年同期比5.5%増の増収となりました。

一方、営業費用については、効率的な会員募集の実施によるカード募集費用の削減や新システムへの移行に伴う情報処理費用の減少等コスト削減に努めましたが、昨今の利息返還請求の増加に伴う関連費用の増加により、176億98百万円(前年同期比20.8%増)となりました。

以上の結果、営業利益は25億55百万円(前年同期比43.8%減)、経常利益は25億50百万円(前年同期比43.8%減)、中間純利益は10億76百万円(前年同期比60.2%減)となりました。

【単位：百万円】

	営業収益	経常利益	中間純利益
平成20年2月期 中間期業績	20,253	2,550	1,076
前年同期比	+5.5%	△43.8%	△60.2%

◆ 中間期のトピックス

日興コーディアル証券と提携、2007年6月より金融商品仲介サービスをスタート

ポケットカードは、金融商品仲介業において豊富な経験とノウハウを有する日興コーディアル証券株式会社と本年6月15日に業務提携をし、金融商品仲介サービスをスタートしました。

本サービスのスタートに伴い、当社ホームページ内に会員向け投資サイトを新たに開設し、日興コーディアル証券の証券口座や資料請求の受付に加え、投資コラムの連載や投資スタイル診断など投資に関する様々な情報提供を行います。

ポケットカードでは、クレジットカードサービス事業を中核に、通販事業や保険、旅行など様々なサービスを提供し会員の利便性向上に努めてまいりました。今回の金融商品仲介サービスもこの一環であり、同サービスの提供によりカード会員への資産運用サポートを強力に行ってまいります。

以上